

平成18年度実績評価事務事業進行管理表

事務事業名	自転車飯田を発信事業				財務会計上の位置付け	会計	款	項	目	細目	細々目	19予算額(千円)	
部等名	産業経済部 課等名 観光課				包含する細々目	1	7	1	4	10	8		
政策	1 多様な産業が発展できる経済力の強いまちづくり												
施策	13 地域内産業の多様な連携												
実施区分	継続	会計	一般会計	環境調整会議	関連計画 条例等	地域経済活性化プログラム							
		事業期間	18	年度～		年度							

【Do】(1)この事務事業は次の目的を達成することを目指します。

目的の記述	対象(人や物、自然資源など)	対象の大きさを表す対象指標名と単位	対象指標の数値			
	国内及び世界中の人 地域内の人	人口(日本の自転車保有台数は870万台(H17))	現状又は19年度見込	23年度又は終了年度	23年度 以前に終了 は終了とす る	
		自転車を楽しむ人の数	870万			
	意図(成果は何か、対象をどうかえるか)	成果達成度を表す成果指標名と算定式・単位	成果指標の数値(実績・目標)			
	ツアー・オブ・ジャパンと全日本実業団サイクルロードレース及び、ダイハツボンシャンスのホームタウン構想を軸に、“飯田”を全国、世界に発信する。 地域内の人が自転車を楽しみ、国際レースが当地域で行われることを誇りに思える。	イベントに訪れた人(観客数)	18目標	44000	最終目標	
			18実績	49000	19目標	
自転車に携わる市民や企業等の数		23目標		23実績		最終目標 達成年度
		18目標		最終目標		
18実績		19目標			最終目標 達成年度	
23目標		23実績			最終目標 達成年度	

(2)意図を達成するために以下のことを取り組みます。

手段の記述	事業の全体概要(補足説明)	具体的活動内容(やり方、手順、詳細)	活動量を表す名称・単位	活動量の値
	TOJ(ツアー・オブ・ジャパン)と全日本実業団サイクルロードレース、更にダイハツボンシャンスのホームタウン構想を柱としたサイクルツーリズムを推進する。 日本にはまだ浸透していない“自転車の観戦文化”を飯田から発信し、“自転車で世界を目指す若者を応援する”ことで、飯田にいながらにして、市民が世界のイベントにつながる事ができる。 自転車は環境に負荷をかけない移動手段であり、健康にもよいという、「環境と健康」という、時代の流れを先取りした分野である。自転車愛好家も増加しているし、この分野で“飯田”の情報発信を行うことは、環境文化都市の発展型として有効である。 TOJのTV放送等を通じて、全国レベルでの情報発信が出来るほか、ダイハツボンシャンスの選手がユニホームに飯田のマークと名前を付けて、ヨーロッパやアジアの大会で走ることは、市民の夢ともなる。 直接の観光消費額は现阶段ではそれほど大きなものではないが、マスコミ等を通じたパブリシティ効果は大きい。	18年度の実績 ツアー・オブ・ジャパン南信州ステージの開催 全日本実業団サイクルロードレースの開催 自転車教室、ビデオ鑑賞会、DVDの発売などのイベントを通じて、自転車に興味を持つ市民を増やす 全国のサイクルツーリストへ情報発信を行い誘客を図る サイクルツーリズム推進の検討	イベントに参加した人(数)	
19年度計画 ツアー・オブ・ジャパン南信州ステージの開催 全日本実業団サイクルロードレースの開催 イベントやダイハツボンシャンス飯田の選手と市民との交流の機会を設けることにより、自転車に興味を持つ市民を増やす 全国のサイクルツーリストへ情報発信を行い誘客を図る その他サイクルツーリズム推進 3年間実施した経過をふまえ、評価と、今後について検討する	イベントに参加した人(数)			

<金額の単位:千円>		18決算額(見込)	19予算額(当初)
事業費	特定財源		
	国庫支出金		
	県支出金		
	起債		
	その他		6,600
	一般財源	4,900	14,700
事業費計(A)	4,900	21,300	
人件費	正規職員所要時間	18年度 2,000	19年度 2,000
	臨時職員等所要時間		
	人件費計(B)	7,152	7,152
	トータルコストA+B	12,052	28,452

特定財源内訳や補足事項	
-------------	--

(3)この事業目的の達成は、次の上位(施策や主体の役割)目的の達成に結びつきます。

目的の記述	結果 この事務事業の施策(基本事業)の目的	上位成果指標(施策又はムトス指標)と単位	上位成果指標の数値			
	多様な産業が発展できる経済力の強いまちづくり。	観光消費額(円)	現状値	14500000	19実績	15000000
			20実績		21実績	
	経済自立度(%)		22実績		23目標	
			現状値		19実績	
			20実績		21実績	
22実績				23目標		

この事業を開始したきっかけ	事業を取り巻く状況の変化	事業に対する市民や議会の意見
<ul style="list-style-type: none"> 飯田をPRするためには、他の地域にない特徴あるイベントの実施と、マスコミ等を通じたPRが重要である。 ヨーロッパにおいては毎週のように自転車レースが行われるなど、自転車レースの最高峰であるツール・ド・フランスをはじめ、自転車レースや自転車を楽しむ文化が育っている。 飯田観光協会が中心となって誘致活動を行った結果、平成17年度に実施が可能となり、子供からお年寄りまでが道場で応援する様は、業界関係者にも、驚きをもって大きな評価を得ることになった。 	<ul style="list-style-type: none"> 日本においては、自転車は駅までの足か、腿の太い競輪選手くらいしか一般的に認知されていなかったが、それぞれのチームのユニフォームに身を包んだ外国の選手が飯田の坂を疾走する姿は、多くの市民に驚きを与えた。 また、この盆地地形が自転車レースコースとして活かせることがわかり、「資源の資産化」が目に見える形となった。 飯田市民が暖かく選手を応援する背景もあり、ダイハツボンシャンス(代表の福島晋一は日本を代表する選手)が、ホームタウンとして飯田を選択し、複数の選手が飯田へ移住する予定である。 	<ul style="list-style-type: none"> 地域住民は驚いた。今年のTOJは一段と盛り上がった。 龍江地区は、時期的に9月開催を望んでいる。連盟と調整中。 各方面から、「驚いた。凄い。楽しい。」などの感想が寄せられている。 自転車愛好家や関係者からは、「飯田は凄い」との評価を得ている。

【See】18年度の振り返り

目的妥当性評価	(評価) 結びつく (その理由)		有効性評価	(評価) 余地がある (その理由)	
	この事業の意図の達成が、結果(上位目的)に結びついていますか？	他に飯田で行われる国際レースはない。特定の分野に対してではあるが、現段階では、最も「飯田」のPR効果が高い事業である。観光課が行っているが、スポーツの振興、ふるさと意識の醸成などの側面も強い。		成果をさらに向上させる余地はありますか？	自転車の選手やレースに詳しくなることにより、より楽しむことが出来る。
対象の見直し、拡大、縮小の必要性はありますか？	(評価) 必要性がない (その理由) 3年間実施して評価する。	廃止・休止した場合の影響はありますか？	(評価) 影響あり (その理由) 市民の失望。再度、自転車レースを開催することは困難となる。		
意図の見直しの必要性はありますか？	(評価) 必要性がない (その理由)	他に類似事業はありますか。また統合の可能性はありますか(市以外の取組も含む)	(評価) 統合不可能 (類似事業名、理由) 他に類似する事業がなく、統一は不可能である。		
市が関与する必要性はありますか？(市が税金を投入すべき事業ですか)	(評価) 必要ある (その理由) 平成18年度までは、無理をして企業の協賛金を頼み込んで財源を確保していたが、望ましくない。市が、国際レースを実施することとして、位置づけと予算付けをして実施する。	効率性評価	(評価) 不可能 (その理由) 今まで、無理をして協賛金を集めてきたことは改善を要する。		
		公平性評価	(評価) 妥当である (受益者とその理由) 飯田をPRし、市民が楽しむイベントとして費用の負担が必要である。		

【Plan】改革改善

今後の事業の方向性	何を、いつまでにどうするのかの改革改善案
<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的見直し <input type="checkbox"/> 別事業に統合 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善 <input type="checkbox"/> 現状維持	産業経済部の部課長等が企業等を訪問して協賛金のお願いをしてきたが、それに費やす時間的なコストと、協賛とはいっても、各企業に部課長が貸しをつくることにもなっており、来年度以降は市としては協賛金集めを行わない。事業実施には協賛金に相当する財源が必要となる。
上記の改革改善案を実施する際、想定される課題とその克服方法	

【補足事項環境側面】

(1) 環境影響評価の必要性判断	(2) 必要性な場合の実施事由
(3) どのような点に配慮し事業に取り組みましたか？	

【指摘事項】

施策マネジメント会議	
施策評価会議	
第5次基本構想基本計画推進委員会	